

■企業プレゼンテーション プログラム

日時		企業名
10/27 (水)	12 : 10~12 : 20	株式会社アントンパール・ジャパン
	12 : 20~12 : 30	プロメテック・ソフトウェア株式会社
	12 : 30~12 : 40	株式会社ナノフィルムテクノロジーズジャパン
	12 : 50~13 : 50	オンライントークルーム
10/28 (木)	12 : 10~12 : 20	デュポン株式会社
	12 : 20~12 : 30	ブルカージャパン株式会社
	12 : 30~12 : 40	島貿易株式会社
	12 : 40~12 : 50	MESYS Japan
	12 : 50~13 : 00	ENEOS株式会社
10/29 (金)	12 : 10~12 : 20	株式会社ハック・ウルトラ
	12 : 20~12 : 30	出光興産株式会社
	12 : 30~12 : 40	日本カニゼン株式会社
	12 : 50~13 : 50	オンライントークルーム

■企業プレゼンテーション参加 URL

10/27 (水)

<https://us06web.zoom.us/j/85231166184?pwd=dVlXWkZjNE9lYkZxMW94QnhpcTV3QT09>

ID: 852 3116 6184

Pass: 429464

10/28 (木)

<https://us06web.zoom.us/j/84854883825?pwd=UFRyeStwUG0rbVFON1FlMmwyamFHUT09>

ID: 848 5488 3825

Pass: 697403

10/29 (金)

<https://us06web.zoom.us/j/83411104829?pwd=bXBWVnZlZUkxajBzSUUs3R1dRSzNGZz09>

ID: 834 1110 4829

Pass: 374990

講演企業：株式会社アントンパール・ジャパン

日時：10/27（水）12：10～12：20

講演者：表面機械特性部 倉地祥毅

講演題目：ソフトトライボロジー評価

講演概要：アントンパールは来年創立 100 年を迎える幅広い化学分析装置、計測装置を提供しているオーストリアに本社を置くメーカーです。アントンパール・ジャパンは日本法人として日本国内のお客様へ製品の提案、提供・アフターサポートを行っております。分析機器を扱う私たちの部門では特にソフトマター、ソフトマテリアルにおける研究、開発の場面で正確な測定、時間短縮等に貢献出来るソリューションの提案に注力しております。プレゼンテーションでは一番の強みであるレオロジー評価に関するクリームの評価事例、装置のご紹介を。微小な荷重による、摩擦力を正確に測定が可能なナノトライボメーターの評価事例をご紹介します。

講演企業：プロメテック・ソフトウェア株式会社

日時：10/27（水）12：20～12：30

講演者：東京営業部 杉谷浩行

講演題目：トライボロジー関連のシミュレーション事例・デモのご紹介

講演概要：プロメテック・ソフトウェアは、メッシュレス流体解析ソフトウェアである Particleworks の開発会社です。現在、国内市場だけではなく海外市場に向けても積極的に販売活動を進めております。Particleworks は、トランスミッションやエンジンの潤滑、車載モーターの冷却等の解析分野で、国内外の産業界から広く支持を受けて参りました。本日の企業プレゼンでは、玉軸受内のグリース挙動を始め、飛沫や自由表面流れ等のメッシュレスの強みを活かした事例・デモをご紹介します。また、弊社の粉体解析ソフトウェアである Granuleworks の事例・デモも合わせてご紹介致します。

講演企業：株式会社ナノフィルムテクノロジーズジャパン

日時：10/27（水）12：30～12：40

講演者：Sales & Marketing 川上達哉

講演題目：FCVA 成膜方法による TAC(水素フリーDLC)のご紹介

講演概要：FCVA 成膜方法による高硬度でドロップレットフリーの TAC(水素フリーDLC)をご提供しています。DLC や表面処理での課題にソリューションを提供し、今後は水素社会へも貢献して参ります。

講演企業：デュボン株式会社

日時：10/28（木）12：10～12：20

講演者：E&I 事業本部 ベスペル® ・ カルレッツ® 製品部 宮内卓也

講演題目：高速領域におけるベスペル®ワッシャの実力と評価設備の紹介

講演概要：世界中で自動車の電動化が加速する中で E-axle 等で使用されるスラストワッシャの使用環境が益々厳しくなっています。弊社のベスペル®ワッシャは焼付無し、融点・溶融無し、低粘度オイルや貧潤滑環境下に強いという特徴を有しており、電動化車両に対する最適解であると考えております。これを実証すべく、高速摩擦摩耗試験機を導入し、お客様との開発を加速させる体制を整えました。当日は高速領域におけるベスペル®ワッシャの実力とその評価設備についてご紹介します。

講演企業：ブルカージャパン株式会社

日時：10/28（木）12：20～12：30

講演者：ナノ表面計測事業部 営業部 長谷川勇人

講演題目：多機能摩擦摩耗試験機 UMT TriboLab のご紹介

講演概要：ブルカージャパンナノ表面計測事業部は、表面計測における世界トップシェアを誇る製品群をラインナップし、最先端技術を必要とする国内のお客様に幅広いソリューションとサポートサービスを提供しています。本日は、世界累計販売台数 1 千台以上となる、様々な分野の材料やコーティング研究・品質管理で導入されています UMT TriboLab の製品紹介と応用事例をご紹介します。

講演企業：島貿易株式会社

日時：10/28（木）12：30～12：40

講演者：事業推進部 計測器・装置チーム 西山修平

講演題目：PCS 社製トライボロジー試験機について

講演概要：島貿易は創業 110 年を超える工業原材料専門商社として化粧品から電子部品まで様々な分野で専門性の高い商材を取り扱っており、計測器・装置チームでは、海外からのユニーク且つ最先端技術に特化した製品の輸入-販売-技術サポートを一貫して行っております。今回は、英国 PCS Instruments 社製トライボロジー試験機についてご紹介いたします。

講演企業：MESYS Japan

日時：10/28（木）12：40～12：50

講演者：山添一夫

講演題目：機械設計者のための転がり軸受設計計算ソフトウェア

講演概要：転がり軸受は、回転を伴う様々な機械に使用されており、より良い設計を行うためには重要な機械要素の一つと考えられます。MESYS Software は、手軽に軸受内部の荷重分布、接触状況を計算し、非線形な軸受の剛性や寿命計算を行うことができます。

MESYS Software は、いくつかのモジュールから構成されており、転がり軸受単体の計算から複数の軸が歯車やベルトで連結された複雑なギヤボックスや遊星歯車等の装置までモデル化が可能です。各モジュール構成は以下の通りです。

- ・転がり軸受計算モジュール 軸受単体の計算を行う
- ・シャフト計算モジュール シャフトに複数の軸受を設定、固有値計算も可能
- ・シャフトシステム計算モジュール ギヤボックス等複数の軸を有する機械の計算
- ・ボールねじ計算モジュール ボールねじ単体の計算、シャフト計算と統合可能

講演企業：ENEOS 株式会社

日時：10/28（木）12：50～13：00

講演者：潤滑油カンパニー 潤滑油研究開発部

加藤大地、神畑知輝、桜田宗一郎、濱岡日向子

講演題目：ENEOS 株式会社および潤滑油カンパニーの紹介

講演概要：当社は総合エネルギー企業として、ガソリン、灯油、潤滑油等の精製および販売、ガス、石炭の輸入販売、石油化学製品等の製造および販売に加え、近年では電気や水素の供給も行っています。近年の環境問題等に企業全体として対応しています。

潤滑油に焦点を絞ると、自動車用潤滑油、工業用油、金属加工油、冷凍機油をはじめグリースの研究も行っており、全体で 3000 種類以上の潤滑油、グリース製品を販売しています。最近では環境問題に加えて安全性も大きな課題となっており、新規開発は難しくなっています。ENEOS ではお客様に安心して使用していただく潤滑油を開発販売していきます。

また、最近のカーボンニュートラルに向けた対応にも取り組んでいます。省エネルギー性の向上により炭酸ガス排出量を抑制することや自然由来の原料検討など様々な検討を実施しています。

講演企業：株式会社ハック・ウルトラ

日時：10/29（金）12：10～12：20

講演者：代表取締役社長 藤澤大亮

講演題目：色度計で潤滑油の品質の見える化を

講演概要：目視で行われていることが多い、潤滑油の酸化劣化診断や製品の品質・生産管理。目視での色測定は潤滑油に限らず多くの分野でその正確性が問われています。ハック・ウルトラでは、25年以上色度計を世界中で販売して参りました。その概要をお伝えします。

講演企業：出光興産株式会社

日時：10/29（金）12：20～12：30

講演者：潤滑油一部 潤滑油安全品質保証室 杉井秀夫

講演題目：出光興産の潤滑油ご紹介

講演概要：出光興産の潤滑油部門の概要をご紹介します。

講演企業：日本カニゼン株式会社

日時：10/29（金）12：30～12：40

講演者：技術本部 研究開発室 森田顕

講演題目：レプリカめっき

講演概要：めっき皮膜に潤滑性や硬度向上といった機能を付与するため、PTFE や SiC といった固体粒子を皮膜中に共析させる“複合めっき”と呼ばれるめっき方法があります。

それに対して、“レプリカめっき”は、固体粒子そのものの特性をめっき皮膜に付与するのではなく、固体粒子の形状をめっき皮膜に転写する方法です。レプリカめっき皮膜は表面に固体粒子の形状由来の凹みを有していますが、添加する固体粒子の粒度分布や添加する濃度を変えることで、深さや個数をコントロールすることが出来ます。

期待される機能としては、めっき皮膜と異素材との接合強度の向上、表面積の増大、液体や微粒子などの保持性向上などが期待できます。今回は、川邑研究所様のデフリックコートとレプリカめっきを組み合わせた事例について発表いたします。